

フリードリッヒ・フェンツル氏

オーストリアのザルツブルクで長年にわたり活躍されてきたフリードリッヒ・フェンツル氏が、2014年12月8日にお亡くなりになりました。法名 釈明信。82歳。

フェンツル氏は、ザルツブルク大学図書館職員として勤務、1960年にヨーロッパの妙好人と呼ばれるハリー・ピーパー氏とのそれまでの文通の末の面会、親鸞の教えの深い理解へと導かれました。68年には来日し、帰敬式を受けられ、滞在中には『仏教タイムス』に「西洋における仏教教育」「善意は平和に優先」「指導的仏教国家」等を寄稿、以後、ドイツ、オーストリアで指導的役割を果たしてこられました。79年には『Pure Land』発刊号に寄稿、80年より隔年開催のヨーロッパ真宗会議には、第1回から出席、82年にオーストリア・シャイプス仏教センターで開催された第二回では議長を務められました。

オーストリアテレビの宗教の時間出演、ザルツブルク仏教会会員としての活動等、ドイツ語圏での親鸞の知名度を高める幅広い活動にも従事されました。

葬儀は、元ドイツ真宗協会代表トーマス・モーザー師の導師のもと、地元ザルツブルクで式式にて勤められました。弔意を表明いたします。



IABC活動報告

平成25年度と26年度の事業からここにその概略を報告いたします

詳細は、ホームページをご覧ください：<http://www.ne.jp/asahi/iabc/homepage/japanese.htm>

1 協会・団体への助成

ヨーロッパなどの地域で仏教の思想・文化を研究、教育、振興する活動に対する支援・助成活動（寺院・集会所の維持、セミナー開催、機関誌発行、翻訳出版などへの助成）

ベルギーの協会（Centrum voor Shin Boeddhisme v.z.w.）
アントワープの「慈光寺」の維持および活動および出版事業への助成。

ドイツの協会（Buddhistische Gemeinschaft Jodo Shinshu Deutschland e.V.）
以下の地域ブロックへの活動および出版事業への助成。

1) 北部ドイツ:ベルリン「ベルリン・サンガJodoshinshu Berlin」 2) 西部ドイツ:メンヒェングラートバッハ「Anjin Do安心堂」

オーストリアの協会（ザルツブルク） ザルツブルクでの活動（出版、講演、原稿執筆など）への助成。

英国の協会「浄土教朋の会 Shin Buddhist Fellowship UK.」 サウサンプトンでの活動および出版事業への助成

東欧地域（ルーマニアおよびハンガリー）

クライオーヴァおよびブカレストの「他力道場 Tariki Dojo」の活動、翻訳および出版事業への助成。

アラスカ（米国・アラスカのアンカレッジ）

アンカレッジ「白蓮華真宗センター-White Lotus Center for Shin Buddhism」の活動への助成。

オーストラリア ウェブページ運営への助成。

NCC宗教研究所（日本・京都） ヨーロッパの神学、宗教学を専攻する学生に仏教を教育するプログラムに対する助成。

2 出版事業：本協会機関誌「国際仏教文化協会ニュース」（IABC News）、英文真宗誌Shin Buddhist、卓上カレンダーなどを発行

3 海外の大乗仏教者や大乗仏教学者との交流の事業

英国・サウサンプトン、ソレント大学における第17回ヨーロッパ真宗会議開催（平成26年度事業計画）。

4 特別事業：公益財団法人認定の報告祝賀会の開催（平成25年度事業報告）。